

健康で豊かな心を育む

市民歩け歩け大会



第45回市民歩け歩け大会は6月6日、旧磯部中学校グラウンドをスタート地点に開催され、市内外から約160人が参加しました。

当日は、2つのコースに分かれて、稲荷寄木神社や磯部水産加工施設など、市内の名所を経由し歩きました。

参加者らは、深緑の季節ならではの景色を楽しみながら、初夏の心地よい風を全身に受けてコースを巡っていました。

多彩な音色を奏でる

そうま音楽夢工房演奏会

そうま音楽夢工房第85回演奏会「カジュアルマリンバコンサート」は6月6日、市民会館で行われ、市民ら約100人が訪れました。

出演者は、マリンバ奏者の水谷明子さんと市川須磨子さん、ピアノ奏者の半澤淳子さんの3人。

訪れた人は、マリンバとピアノが奏でる多彩な音色とリズムの躍動を楽しみ、穏やかな癒しのひとときを過ごしました。



後継者を育成

子ども民謡教室
開校式

市内の小・中学生を対象とした子ども民謡教室の開校式は6月11日、市民会館で開催され、6人の児童・生徒が参加しました。

同教室は、相馬民謡の継承を目的に、相馬民謡同好会の協力を得て開かれる教室で、市教育委員会の主催。

今年で10年の節目を迎える民謡教室の生徒数は、新規での参加者5人を加え8人。

教室は、毎月第二、第四木曜日に開かれ、生徒らは練習に励みます。

大豆から食への理解を深める

食と農の体験スクール

食と農の体験スクールは6月11日、合同会社飯豊ファームで行われ、飯豊小学校の3年生27人が参加しました。

同スクールは、「東京農大の実学が拓く農林業の人材育成・研究プロジェクト」の一環として令和3年度から実施。

当日は、飯豊ファームの竹澤一敏代表や東京農業大学の関係者などの指導の下、同ファームの畑で種まきが行われました。

児童らは、慎重な手つきで



丁寧に種をまいていました。

子どもも大人もみんなでわいわいにこにこ食堂



ボランティア団体「にこにこ」が中心となつて運営するにこにこ食堂は6月13日、中央公民館で開催され、地域住民ら約100人が参加しました。

同食堂は、「こどもも大人も、みんなでわいわい、楽しい」をコンセプトとして開催。

当日は、炊き込みご飯や焼魚など、栄養満点の食事が振る舞われ、幅広い世代の方が、温かい雰囲気の中で楽しい時間を過ごしていました。

日ごろの活動に感謝 東北管区行政 評価局長表彰受賞報告

東北管区行政評価局長表彰



受賞報告は6月12日、市役所で行われ、受賞した菅野良成さんのほか、五十嵐文敏福島行政監視行政相談センター所長が訪れました。

菅野さんは、長年にわたる行政相談活動が評価され、同表彰を受賞。

菅野さんは「今後も引き続き行政と連携して、地域住民のために尽力していきたい」と述べ、報告を受けた阿部市長はその功績をたたえました。

長年の功績をたたえる

厚生労働大臣特別表彰

民生委員・児童委員への厚

生労働大臣特別表彰は6月15日、市役所で行われ、建藤洋悦民生児童委員協議会長の同席のもと、荒文子さん、田中幸子さん、鎌田麗子さんの3人に阿部市長から賞状などが手渡されました。

厚生労働大臣特別表彰は、長年にわたり、同委員として地域社会の福祉向上に貢献された方に対して贈られるもの。阿部市長は「長年のご尽力に感謝申し上げます」とお礼



の言葉を述べました。

厳しい練習の成果 を競う 市消防団消 防操法競技大会



市消防団消防操法競技大会は6月14日、長友グラウンドで行われ、各分団から選ばれた選手ら46人が小型ポンプなどの消防機器操作の正確さや速さを競い合いました。

大会は、市内消防団の消防技術向上と士気高揚などを目的に実施され、小型ポンプ操法の部に8チーム、ポンプ車操法の部に1チームが出場。

選手たちは指揮者の号令に従いながら、消防操法をきびきびとした動作で行い、日ごろの練習の成果を発揮していました。

松川浦の美しい景色を駆け抜ける ツール・ド・ふくしま2026

ふくしま復興サイクルロードレースシリーズ「ツール・ド・ふくしま2026」は6月13日～14日の2日間、浜通りを中心とした県内の各所を舞台に開催されました。

6月13日に市内で開催されたレースには約250人が参加し、個人タイムトライアルが行われました。

参加者は、太平洋や松川浦などをはじめとした美しい景色を駆け抜け、さわやかな汗を流していました。



瑞宝単光章の榮譽 春の叙勲伝達式

叙勲伝達式は6月18日、市

役所で行われ、瑞宝単光章の榮譽に輝いた杉浦弘子さんに阿部市長から勲記および勲章が手渡されました。

杉浦さんは、昭和60年の国勢調査への協力に始まり、住宅・土地統計調査など多種多様な統計調査活動に従事され、統計調査の推進や正確なデータの収集に貢献されました。

杉浦さんは「若い方の育成など、これからも健康に気をつけて頑張りたいです」と今後の抱負を述べました。



被災高齢者の生活支援に

蔵王リース株式会社

蔵王リース株式会社の平間



征太郎会長と平間宏樹代表取締役は6月22日、市役所を訪れ、阿部市長に寄付金を手渡しました。

同社は、地域貢献の一環として、被災高齢者の生活支援のため、継続的に本市への支援を行っています。

寄付金を受け取った阿部市長は「いただいた寄付金は、被災高齢者の生活支援のために活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

被災地を視察

金子恭之国交大臣来相

6月28日、金子恭之国土交通大臣が東北震災復興視察に訪れ、伝承鎮魂祈念館などを視察しました。

内堀雅雄県知事と阿部市長より相馬港について説明を受けた後、伝承鎮魂祈念館では震災前のジオラマや震災後の状況を紹介したパネル写真、港に押し寄せる津波の映像などを視察しました。

視察後は、東日本大震災慰霊碑（原釜地区）に花を手向け、津波の犠牲となった人た



ちを追悼しました。

自分たちで考えて

選ぶ桜丘小「子ども

も議会議員選挙」



桜丘小学校の子ども議会議員選挙は6月29日、同校の6年生の児童74人を対象に行われました。

当日は、学習環境の整備や通学路の改善などの公約を掲げる5人の立候補者らによる演説会の後、実際の投票箱を使った投票が行われました。

児童らは、候補者の提案内容をよく考え、自分の意思で一票を投じていました。

子ども議員に選ばれた児童は、10月に行われる子ども議会で、市長らに対して一般質問を行います。

百歳おめでとう

▽八巻テルさん

6月11日に百歳を迎えた八巻テルさんへの賀寿贈呈は6月22日、南相馬市の施設で行われ、八巻さんに県知事および市長賀寿状などが手渡され、同席した家族などが八巻さんの長寿を祝いました。

阿部市長は「これからも元気なお姿を私たちに見せていただきたいと思います。どうか元気にお過ごしください」と述べました。

八巻さんの長寿の秘訣は、施設職員の皆さんのサポートのおかげです。



▽森禮子さん



百歳を迎えた森禮子さんへの賀寿贈呈は7月2日、ベテランズサークルで行われ、森さんに県知事および市長賀寿状などが手渡され、同席した家族などが森さんの長寿を祝いました。

阿部市長は「これからも、ご家族やお友達と一緒に楽しい時間を過ごされ、長寿のお手本として、そのお姿を見せていただきたいと思います」と述べました。

森さんの長寿の秘訣は、好き嫌い無くなんでも食べることです。

季節を楽しむ七夕行事

▽親子教室アイアイ広場



親子教室アイアイ広場は6月25日、相馬愛育園で開催され、8組16人の親子らが参加しました。

当日は、一足先に夏を感じる手遊びやダンスを楽しんだ後、七夕をテーマに天の川トンネルで遊んだり、織り姫と彦星をイメージした七夕飾りの制作を行いました。

参加した親子らは、遊びを通して親子で体を動かすなど、和やかな雰囲気の中で交流をしながら季節の行事を楽しんでいました。

▽中央児童センター

中央児童センターおやこ教室は7月3日、同センターで開催され、親子12組25人が参加しました。

同センターのにじいろクラブの会員を対象に、季節の行事を通して親子の触れ合いや保護者同士の交流を図ることを目的に開催。

参加した親子らは、音楽に合わせて元気に体を動かした後、折り紙などで短冊や七夕飾りを作って笹に飾り付け、一足早い七夕を楽しみました。



▽さくら子ども教室



放課後子ども教室「さくら子ども教室」七夕流しそうめんは7月4日、中央公民館で開催され、同教室登録児童および保護者ら約90人が参加しました。

当日は、うちわ作りや同教室スタッフによる七夕の絵本の読み聞かせの後、流しそうめんが行われました。

参加した児童らは、流れてくるそうめんやお菓子を夢中でつかみ、美味しそうに食べるなど、親子で楽しい時間を過ごしていました。

スポーツで心と体を元気に 市民スポーツ大会総合開会式

市民スポーツ大会の総合開会式は7月5日、総合福祉センターで開催され、約100人が出席しました。

市スポーツ協会の渡部卓会長のあいさつに続き、表彰が行われ、競技の振興に尽力した功労者のほか、各大会の成績優秀者や団体に賞状が送られました。

また、同大会に出場する選手を代表して市バスケットボール協会の陶龍男選手が宣誓をしました。



全国大会出場を報告

芸術文化奨励金交付式

市芸術文化奨励金交付式は7月10日、市役所で行われ、第50回全国高等学校総合文化祭秋田大会などに出場する相馬高校および相馬総合高校の生徒らが訪れました。

式で、福地裕之教育長が生徒らを激励し、奨励金を手渡しました。

●出場者（敬称略） ▽相馬高校放送局 ▽相馬高校美術部 ▽高橋愛 ▽相馬総合高校美術部 ▽池下雛那



社会を明るくする運動

▽メッセージ 伝達式



メッセージ伝達式は7月1日、市役所で行われ、関係者ら約20人が参加しました。

社会を明るくする運動相馬市推進委員会の小畑強子委員長らが内閣総理大臣のメッセージなどを読み上げ、阿部市長に手渡ししました。この運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、7月が強化月間となっています。

▽少年サッカー大会



少年サッカー大会は6月27日～28日の2日間、相馬光陽サッカー場で行われ、市内外から6チームが参加しました。

同大会は、小学校低学年を対象に、8人制の総当たりリーグ戦で開催。

選手らはチームの仲間とボールをつないで、試合終了のホイッスルが鳴るまで一生懸命走り、応援の保護者らは選手たちのプレーに大きな声で熱い応援を送っていました。

▽少年野球大会



少年野球大会は7月11日、相馬光陽ソフトボール場で行われ、市内外から6チームが参加しました。

同大会は、野球を通じてスポーツの素晴らしさやチームプレーの大切さを認識し、少年期から相互交流を深めることで、青少年の健全育成を図ることを目的に開催。

選手らは、チームメイトと声を掛け合いながら、元気いっぱいプレーをしていました。

▽ふれあいお茶会



ふれあいお茶会は7月11日、振興公社振興ビル1階ロビーで行われ、90人の市民らが訪れました。

同会は、さまざまな人と触れ合うことで地域を明るくすることを目的に開催。

当日は、茶道の先生が作法に従ってお茶を振る舞ったほか、参加者自ら茶せんを使いお茶をたてる「茶道体験」が行われました。

市民らは、抹茶と和菓子を楽しみながら、くつろいだ時間を過ごしていました。

自分の言葉で力強く「少年の主張」相馬大会



「少年の主張」相馬大会は7月9日、市民会館で開かれ、市内4中学校の代表生徒10人が自らの意見を発表しました。市青少年健全育成市民会議が主催し、多くの大人に中学生への理解や関心を深めてもらうことを目的に開催。

個性や友人関係など学校生活に根ざしたテーマから、相馬市の未来や障害などの社会的なテーマまで、発表者は力強く自分自身の言葉で意見を述べていました。